

報道関係各位
プレスリリース

九州産交バス株式会社
産交バス株式会社

2019年4月 産交バスは一挙に新4路線を運行

海外インバウンド観光客の需要に応え阿蘇地域強化

➤「福岡・福岡空港～阿蘇線『ASO エクスプレス』」を新設、乗換なし！

➤「熊本～阿蘇線」を新設、阿蘇へのアクセス強化！

熊本～ハウステンボス線や熊本～人吉線も復活運行

※いずれも認可申請中

①阿蘇地域へのアクセス強化

- 九州産交バスグループでは、2019年4月1日（月）より増加する海外インバウンド観光客の需要にお応えする為に阿蘇地域へのアクセス向上を推進いたします。
- 福岡・福岡空港～阿蘇線『ASO エクスプレス』は、天神・博多・福岡空港国際線から乗り換え不要で阿蘇へのアクセスが可能となります。（西日本鉄道(株)と共同運行）また、「熊本～阿蘇線」は1日1往復を運行いたしますので、熊本～阿蘇間を運行する都市間バスは熊本～大分線や九州横断バスを含めると合計で1日12往復の運行となります。
- 更に、阿蘇駅～阿蘇山西駅を運行する阿蘇火口線を1日1往復増便し、1日7往復運行いたします。

※阿蘇火口線輸送人員 ■2018年8月～2019年1月：37,263人 便当たり輸送人員16.5人
■2017年8月～2018年1月：13,853人 便当たり輸送人員11.1人

※2019年4月1日（月）に、阿蘇市内にて『ASO エクスプレス』のお出迎え式を阿蘇市様と共同で開催いたします。詳細が決定しましたら、お知らせいたします。

②復活その1 熊本～佐世保・ハウステンボス線『さいかい号』

- 熊本～佐世保・ハウステンボス線『さいかい号』は、ご利用者数の低迷により2014年9月30日をもって運行を終了した経緯があります。
- しかしながらハウステンボスは、年間288万1000人（2017年度）の総入場者数を誇るテーマパークであり、今後も入場者数の増加が期待されます。
- 九州産交バスでは新たに熊本～佐世保・ハウステンボス線『さいかい号』を運行し、九州最大級のテーマパークであるハウステンボスへのアクセス向上を図ります。

③復活その2 熊本～人吉線『ひとよし号』

- 熊本～人吉線『ひとよし号』も、ご利用者数の低迷により2014年7月31日をもって運行を終了した経緯があります。
- 一方、2019年9月には熊本の中心市街地に日本最大級のバスターミナルを有する複合施設がオープンする等、熊本市内中心部は更なる賑わいが期待されています。その熊本市内へ人吉地域からのアクセス向上を目的とし、熊本～人吉線『ひとよし号』を新たに1日1往復運行いたします。
- 更に、スマホ定期券やスマホ回数券の導入、人吉産交敷地内でのパーク&バスライド用駐車場を設け、お客様が『ひとよし号』をご利用しやすい環境を整備いたします。

■路線概要

路線	福岡・福岡空港～阿蘇線 『ASOエクスプレス』	熊本～阿蘇線	熊本～佐世保 ・ハウステンボス線 『さいかい号』	熊本～人吉線 『ひとよし号』
運行会社	九州産交バス(株) 西日本鉄道(株)	九州産交バス(株)	九州産交バス(株)	産交バス(株)
運行開始日	2019年4月1日			
運行便数	1日3往復 6便	1日1往復 2便	1日1往復 2便	1日1往復 2便
予約制 非予約制	予約制	非予約制	予約制	非予約制
予約開始日	2019年3月1日	-	2019年3月1日	-
主要区間 大人片道運賃 (税込)	西鉄天神高速バスターミナル ～阿蘇駅前 3,300円	熊本交通センター ～阿蘇駅前 1,500円	熊本交通センター ～ハウステンボス 3,700円	熊本交通センター ～人吉産交 2,180円

※いずれも認可申請中

■会社情報

会社名	九州産交バス(株)	産交バス(株)	西日本鉄道(株)
住所	熊本市西区上代4丁目13番34号	熊本市西区上代4丁目13番34号	福岡市中央区天神一丁目11番17号
代表	代表取締役社長 森 敬輔	代表取締役社長 岩崎 司晃	代表取締役社長執行役員 倉富 純男

<福岡・福岡空港～阿蘇線/熊本～阿蘇線/熊本～佐世保・ハウステンボス線

に関するお問い合わせ先>

九州産交バス株式会社 営業本部営業課 (担当: 森山・緒方・林)

TEL: 096-325-8241 FAX: 096-323-7301

<熊本～人吉線に関するお問い合わせ>

産交バス株式会社 営業企画部営業企画課 (担当: 須崎・園田)

TEL: 096-355-5588 FAX: 096-311-1223